

ナスのトゲなし品種および障壁(バンカー)利用栽培の収量性について

海保富士男・田邊範子<sup>a</sup>・荒木俊光・沼尻勝人・竹内浩二\*  
(商品開発科・\*安全環境科) <sup>a</sup>現南多摩農業改良普及センター

【要約】ナスのトゲなし品種の収量は、本年の日照不足の気象条件下では対照品種より低かった。障壁利用栽培でも、ソルゴーの伸び過ぎによる日照不足で収量低下を招いた。

【目的】

2005年、ナスの新品種の収量特性を検討したところ、トゲなし品種でよい結果が得られた。トゲのないナスは、作業性に優れているうえ、新鮮な果実でもトゲが刺さる心配がないため直売にも有利である。そこで、トゲなし品種を普及していくうえで収量性について再確認する。合わせて、近年都内のナス栽培で導入されているソルゴーの障壁(バンカー)として利用した栽培方法での収量性について調査し、技術的資料にする。

【試験方法】

トゲなし品種‘T212’を含む7品種と対照品種として‘千両二号’を供試した。台木品種‘トレロハイダッシュ’を2005年12月26日、穂木品種を2006年1月23日に播種し、2月28日に接ぎ木を行った。定植は4月28日に条間210cm、株間60cm(794株/10a)で行い、1区7~8株の2連制とした。定植後5月15日までタフベルをトンネル被覆した。施肥は成分量(kg/10a)で窒素:60、リン酸:32、カリ:40を施用した。整枝・せん定はV字誘引・主枝4本仕立て・側枝1花止め・わき芽1芽残し・切り戻し収穫とした。障壁は、ナス圃場の周囲にソルゴー‘風立’を条間20cm株間15cmの2条播きとした。

【成果の概要】

- 1) ‘T212’は全くトゲがなかったが、‘直茄’ではトゲが少しある実が時々収穫されることがあった。また、‘黒雄’では軟らかいトゲが少し発生した(表1)。
- 2) 総収量はいずれの品種も対照品種の‘千両二号’より少なかった。また、上物収量および上物率も‘くろべえ’除き対照品種より低く、トゲなし~少ない品種でより低くなる傾向があった(表1)。7月までの早期収量も同様にトゲなし品種が低かった(図1)。
- 3) 平均1果重は、概ね100g前後であった。下物の種類としてはいずれの品種もカスリが多く、1/3程度を占め、次いで虫害が多く、外的要因によるものであった(表1)。
- 4) 生育は、各品種とも草丈250cm前後、節数45節前後で差があまりなかった(表2)。また、‘直茄、黒小錦、黒雄’で7月中~下旬頃、葉にMg欠乏症状が表れた。
- 5) 障壁区の収量は慣行区より低く、上物収量では約1/3程度であった(表1)。しかし、8月までの上物収量に処理間に差がなかった(図1)。また、障壁区の下物のうちカスリの割合が慣行区より低かった(表1)。
- 6) 以上、トゲなし品種の収量は対照品種より低かったが、昨年に比べ日照時間が少なく、気温が低い気象条件の影響も考えられる。次年度で整枝・せん定を含め収量性の検討を引き続き実施する。また、障壁(バンカー)利用栽培では、ソルゴーが伸び過ぎて日照不足になり、落花や短花柱花が増えたので、利用技術についても再検討する。

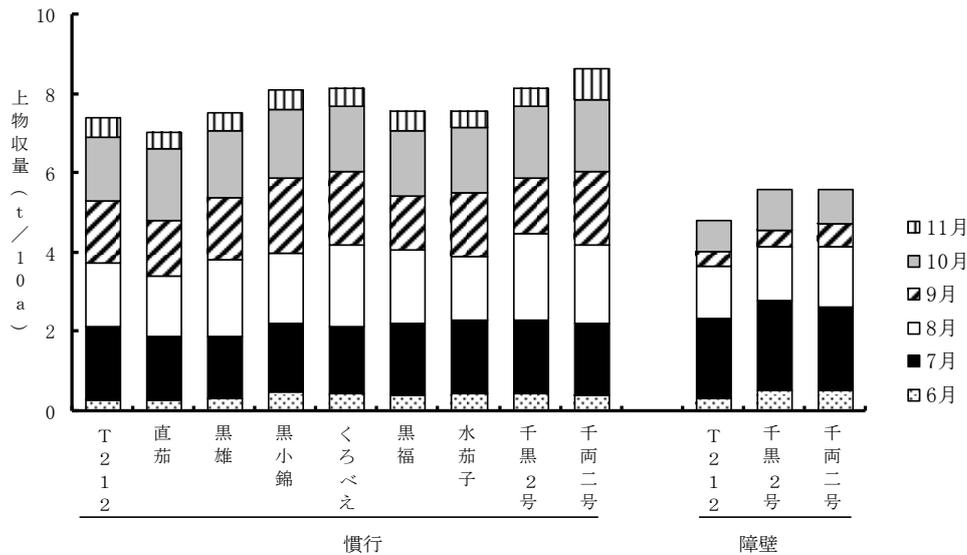


図1 ナスの月別上物収量

表1 ナスの収量特性

処理区	品種(種苗会社 <sup>a</sup> )	トゲ <sup>b</sup>	総収量		上物収量		平均 1果重 (g)	主な下物果内訳割合(%)									
			果数 (千個)	重量 (t)	果数 (千個)	重量 (t)		上物率 (%)	コルク	カスリ	短形	艶無	キズ	虫害	割れ	変形	他
慣行	T212	(夕) 無	113	11.3	74.3	7.4	65.8	100	5	38	11	4	6	11	4	9	13
	直茄	(八) 無(少)	98	10.1	66.8	7.1	70.1	106	8	31	17	2	7	10	2	8	15
	黒雄	(丸) 少(軟)	98	10.4	70.3	7.5	72.2	107	6	34	7	1	6	8	4	15	18
	黒小錦	(八) 中	104	11.0	76.3	8.1	73.7	106	8	32	15	1	7	12	5	9	12
	くらべえ	(渡) 多	106	9.9	86.7	8.2	82.4	94	2	39	8	8	9	8	4	7	17
	黒福	(サ) 多	109	10.1	80.2	7.6	75.1	94	3	30	10	5	6	13	4	13	16
	水茄子	(夕) 多	100	11.0	67.5	7.6	68.6	112	3	29	6	2	7	13	11	7	22
	千黒2号	(武) 中	114	11.2	81.6	8.2	72.6	100	5	33	12	3	8	6	2	11	19
(対照)	千両2号	(夕) 中	116	11.5	85.5	8.7	75.3	101	7	35	10	1	6	8	4	11	17
障壁	T212		83	8.2	47.3	4.8	59.0	102	7	20	14	4	6	12	9	10	18
	千両2号		87	9.5	52.9	5.6	62.6	106	7	22	15	6	7	12	9	10	11
	千黒2号		93	9.4	53.5	5.6	60.0	105	8	26	12	3	7	11	9	9	15

<sup>a</sup> タ:タキイ種苗, 八:八江農芸, 丸:丸種, 渡:渡邊探種場, サ:サカタのタネ, 武:武蔵野種苗園

<sup>b</sup> トゲは観察により4段階に評価:無, 少, 中, 多

表2 ナスの生育特性

処理区	品種	草丈 (cm)	節数 (節)	第1分枝 <sup>a</sup>		20節 <sup>b</sup>		(参考) 各区の薬剤散布の散布状況				
				茎長 (cm)	節数 (節)	茎径 (mm)	茎長 (cm)	茎径 (節)	処理	薬剤	慣行	障壁
慣行	T212	263	44.8	14.0	7.5	24.5	88.3	12.8	4月28日	アドマイヤー粒剤 (植穴施用)	○	○
	直茄	225	43.0	18.5	10.7	26.0	81.9	13.7	5月24日	アディオオン	○	○
	黒雄	234	46.3	17.7	9.7	25.6	77.4	13.4	6月14日	モスピラン	○	○
	黒小錦	244	44.7	14.7	9.2	23.2	83.4	12.3		ダコニール1000	○	○
	くらべえ	252	45.3	15.2	9.7	21.7	84.7	12.7		カスケード	○	○
	黒福	250	48.0	22.0	10.7	23.1	77.8	12.9	7月6日	コロマイト	○	○
	水茄子	244	47.5	19.8	11.0	21.4	78.4	12.8	7月25日	モレスタン	○	○
	千黒2号	256	45.3	21.0	9.8	25.5	88.2	13.8	8月25日	アフアーム	○	○
(対照)	千両2号	251	42.9	13.0	7.8	24.3	89.3	13.5	8月31日	モレスタン	○	○
障壁	T212	233	41.9	14.9	8.4	28.3	89.1	14.0	9月22日	ベストガード	○	○
	千両2号	241	41.1	17.8	9.3	28.0	88.8	13.4	9月29日	コテツ	○	×
	千黒2号	244	42.9	20.1	10.2	25.9	87.0	13.7		アミスター	○	×
									11月8日	アクタラ	○	×

<sup>a</sup> 地際から第1分枝までの長さおよび節数

<sup>b</sup> 20節直下の茎の太さ, 地際から20節までの長さおよび節数